

**関越自動車道高架下活用施設建設懇談会
第一回 リサイクルセンター部会 会議要旨**

- 1 開催日時
平成 25 年 5 月 27 日（月） 午後 7 時 20 分～午後 8 時 20 分
- 2 開催場所
練馬区立大泉町地域集会所 2 階 和室
- 3 出席者
 - (1) 委員（出席委員 10 名、敬称略）
伊藤義夫、岩井秀雄、内田民子、城崎真、手塚昭、新木繁男、宇山義郎、國分裕子
高瀬欣一、玉井弘子
 - (2) 区等
環境部長、清掃リサイクル課長、道路公園課長、リサイクル施設担当係長、
リサイクル推進係長、道路公園課管理係長、施設管理課建築担当係長
設計事務所（株）INA 新建築研究所
- 4 傍聴者
0 名
- 5 議 題
 - (1) 各部会に係る施設における整備基本方針について
 - (2) 各部会に関する今後の進め方について
 - (3) その他
- 6 配布資料
 - 資料 1 関越自動車道高架下活用施設建設懇談会 委員名簿
 - 資料 2 関越自動車道高架下活用施設建設懇談会について
 - 資料 3 関越高架下活用についてのこれまでの経緯等について
 - 資料 4 練馬区関越高架下活用計画（平成 23 年 1 月策定）の概要
 - 資料 5 「関越自動車道高架下活用区間環境影響調査」結果について
 - 資料 6 関越自動車道高架下施設整備についての住民説明会の開催結果について
 - 資料 7 設計事務所によるイメージ図
- 7 会議要旨

自己紹介

案 件

- (1) 各部会に係る施設における整備基本方針について

(環境部長)

施設における整備基本方針について区より、補足説明を設計事務所より説明します。

(事務局)

資料3

P17～33 までが関越自動車道高架下の施設整備基本方針です。リサイクルセンターに関してはP21を参照下さい。リサイクルセンターが建設される予定区画はB区画となります。(資料3に基づき施設概要、利用用途・面積・主な設備等について説明) 会議室1・2の利用・管理については、登録団体に貸出を予定しています。施設の運用については、指定管理者制度の導入を予定しています。現在の指定管理者は平成27年度までとなっており、平成28年度からの指定管理者は新たに選定していく予定です。

(設計事務所)

拡大パネル

決定案ではなく、イメージにて作成しています。

歩行者空間の整備については、統一したイメージを持たせるように何らかのかたちでデザインしていきたいと考えています。

建物前面については、「つなぐ」というキーワードを基に、景色をつなぐ、各々の活動を地域の方々にも知って頂くという考えを踏まえイメージとしてガラス張りを提案しています。使い方などいろいろな意見を出していただいて、参考にさせて頂きたいと考えています。

どの様なものが必要であるか、施設内容をどの様に組み込んでいくかを、皆様と共に造っていききたいと考えております。

(環境部長)

具体的な意見については、次回以降、十分お聞きしたいと思います。今の段階で説明させて頂いた内容等についてご質問や総体的な御意見等ありましたらお願い致します。

(委員)

道路公園管理事務所を併設すると書いてありますが、普段は無人でしょうか。

(道路公園課長)

基本的には職員は常駐しておりません。倉庫内の水防用の土嚢や機材の保管を想定しておりますが、管理上の点検や出し入れの際に職員が対応する程度となります。

(委員)

無人であれば、100㎡も事務所を確保する必要があるのか疑問を感じています。

(道路公園課長)

現段階では水防用品について、何袋でどのくらいのボリュームになるかはこれから詰めていかなければなりません。限られた倉庫の面積に加えて職員10名程度の利用を想定しています。職員は、台風時に仮眠したり、交代で対応する必要があり、机だけのスペースではない部分も必要です。100㎡の大きさや詳細についてはこれから検討していくこととしております。これで決定ということではございません。

(委員)

これから検討していく上での制約について確認させて下さい。現地は、高速道路高架下であり借地と考えられます。類似の活用事例もプレハブのような簡易のものにも見えます。練馬区の建物の多くは鉄筋コンクリートと理解していますが、リサイクルという立場を考えますと、物を大事にする、永く良く使うという観点から、100年程度もつ様な耐久性の高い建物を造っておくべきと考えています。高速道路下の建物としての耐用年数・構造等の建築的な制約はあるのかという点を確認させて下さい。

(清掃リサイクル課長)

構造等資料確認をしている間に、私の方から補足説明させていただきます。

資料4「関越高架下活用計画をまとめました」の2枚目に高架下のブロックの図が出ております。リサイクルセンターの範囲内には4つのブロックがあります。これらは高速道路の橋脚を避けたかたちで配置されています。橋脚を挟んだ部分については渡り廊下にてジョイントすることとなります。建物と建物とを渡り廊下にてつなぐ形状が建物全体の原型となります。尚、一番左側のスペースには、西の広場と利用する方の駐車スペースも設定されており、これらを含めて考えて頂ければと思います。

(委員)

資料4「関越高架下活用計画をまとめました」のリサイクルセンターの範囲内にある、一番左側の黄色のスペースの部分については、何を意味していますか。

(清掃リサイクル課長)

この部分は、駐車スペースの範囲をイメージしています。この範囲についても同様に皆様の意見をお聞きしながら検討していきたいと考えています。この形状が絶対ということはありません。

(事務局)

構造については、豊玉リサイクルセンター及び関町リサイクルセンターは鉄筋コンクリート造、春日町リサイクルセンターは鉄骨造となっております。

(事務局)

占用許可基準を確認しましたが構造については特段謳われておりません。高架下の設計構造は、耐火構造その他火災により道路の構造または交通に支障が及ばないと認められる構造とするという点は記載されています。占用許可基準の条件として鉄筋コンクリート造に限定されているかについての明記はありません。耐火構造には、鉄筋コンクリート造や鉄骨造など幾つかの構造方法もあります。

(環境部長)

耐火構造という点については制約条件となっております。鉄筋コンクリート造とは記載はありません。

(事務局)

鉄筋コンクリート造及び鉄骨造のどちらについても、耐火構造に該当します。

(設計事務所)

鉄骨造には、外壁にコンクリートを板状に成形した板（ALC板）等を用いるなど、鉄筋コンクリート造と同等な耐久性を持たせる方法もあります。今後進めていく中で検討していきたいと考えております。

(委員)

断熱等（内断熱・外断熱など断熱方法の選定など）を話し合いによって詰めていくと、予算がひとり歩きしてしまい、予算上できないということがよくあります。基本的にお金の掛かる部分については、決めておかないといけないと思います。リサイクルセンターといえは省エネが必須であり、エネルギーをかけないためには外断熱を採用したいと考えます。しかしながら、外断熱はお金が掛かかります。練馬区の建物として採用できるのかどうか確認をお願いします。リサイクルセンターとして省エネの建物・耐久性のある建物を造って頂きたいし、地域に愛される建物を是非造って頂きたいと考えています。

(環境部長)

分かりました。リサイクルセンターとして、耐久性・省エネルギー性能への配慮が必要と考えます。しかしながら、全体として統一されたデザインということも視野に入れる必要があります。構造同様、施設全体として確認しなければなりません。

(委員)

リサイクルセンターの施設整備内容の想定面積を足すと、全部で870㎡となります。これは、橋脚など建てられない部分を除いた建築可能な面積の最大限が870㎡ということでしょうか。

(清掃リサイクル課長)

870㎡は各部屋の面積だけであり、延べ床面積には、870㎡のほかに共有スペースが含まれます。この面積については、現段階での想定です。

(委員)

区画が3あるいは4と書いてありますが、この幅の意味は何でしょうか。

(清掃リサイクル課長)

リサイクルセンターと道路公園管理事務所を含め4つの建物スペースを確保しています。どのように区割りをしていくか、空間をどの様に使っていくかについては、皆様の意見をお聞きしながら調整していくために幅を持たせております。

(委員)

4つの建物が建つ面積があることは理解しましたが、区画が3となった場合、空いたスペースはどのようにしていくのでしょうか。検討していくのでしょうか。

(環境部長)

区画が3で済むのであれば1余ります。リサイクルセンター部会において、4区画使用するのであればよいのですが、3区画でよいということになれば、余った1区画については、計画全体の中で使うか使わないか改めて話をする事となります。

(委員)

建物をいくつ建てるかということについては、予算も変わってきますし、ある程度、区としての基本的な考え方をお持ちであるべきではないでしょうか。あまりにも漠然としている感じを受けます。

(清掃リサイクル課長)

「資料4 関越高架下活用計画をまとめました。」を先程、御覧頂きましたが、この部分が区の基本スタイルとして企画の部分と考えております。区として活用基本計画がきちんとしていないと、道路占用許可もありません。この資料にてお示ししているものをベースとしてお考え頂けないでしょうか。

(環境部長)

他の施設を御覧頂ければ何㎡等明確に記載がありますが、リサイクルセンターだけが1200㎡～1600㎡となっています。今まで計画をまとめる過程においても幅を持たせた延べ床面積で検討されてきた経緯があります。リサイクルセンターについては、1600㎡までの範囲内において、我々に裁量の機会が与えられたとご理解頂けないでしょうか。

(委員)

豊玉・関町・春日町といった3つのリサイクルセンターがありますが、3センターの各部屋の大きさや部屋の用途はまちまちです。4つ目の施設としては、一番より良い形のものを造って計画としていくべきです。今回の部屋の大きさや用途は、どちらかのセンターを参考に作ったものでしょうか。

(環境部長)

より良い形をどの様にしていくかについては、これから皆様と考えていくことです。計画の概要については現段階での想定であり、この内容で決定というわけではありません。皆様の意見を頂き、より良い施設を造っていきたいと考えています。

(委員)

既存の3センターの設備の仕様や各部屋の面積などを①展示機能、②学習機能などの区分で構いませんので、豊玉・春日町・関町の3センターと比較して頂けないでしょうか。新しく造る大泉地区のセンターについてどの様にすべきか、ということも比較することで分かると思います。高速道路高架下での制約もあり致し方ない部分もあろうかと思いますが、他と比べてどのようになっているのか等を確認したいので、3センターとの比較表を次回提示頂けないでしょうか。

(環境部長)

それはとても大切なことです。次回までに比較表を作成致します。

(道路公園課長)

延べ床面積が1200～1600㎡と幅があり、有効に利用できると考えられますが、2階が無い分だけ、平場の部分も必要となってくるのではないかと思います。

(委員)

最後にできるものであり、一番良いものを造って頂き、大泉地区リサイクルセンターはこうであったと自慢して頂きたいです。それぞれの欠点をなくし、区報に大きく出るような自慢の施設を是非お願いします。

(2) 各部会に関する今後の進め方について

(事務局)

次回については、建設予定地を皆様に見て頂き、その後、区にてマイクロバスを用意致しますので、春日町リサイクルセンターを見学、春日町リサイクルセンター内にて部会を行いたいと考えています。

(環境部長)

何故、春日町リサイクルセンターを選定したのか、理由を説明してください。

(事務局)

春日町リサイクルセンターを選定した理由としましては、太陽光パネルや屋上緑化など、他のリサイクルセンターに比べて様々な設備が設置されており、検討にあたり、参考になると思い、ご提案させて頂きました。

(環境部長)

「資料2 関越自動車道高架下活用施設建設懇談会 スケジュール案について」を参照下さい。本日は、5/27の全体会・部会、6～7月頃に次の部会、部会后、設計事務所による各施設の基本設計素案の作成となります。設計事務所による基本設計素案を作成する前に、意見や要望を出すためには、6～7月に行われる部会の際に出来るだけ多くの意見を頂きたいと考えています。

見学のスケジュールに関しては、より多くの施設を見学した方が良いと考えておりますが、既存の3つのリサイクルセンターを全て回っている時間は無く、回っていると皆様に御意見を聞くことができなくなります。既存のセンターについては特色のある春日町リサイクルセンターの見学に絞らせて頂きました。

(委員)

リサイクルセンター自体あまり分かっていないので、是非、施設を見学させて頂き、参考にさせて頂きたい。

(環境部長)

春日町より関町や豊玉の方がよいのではないか等の意見もおありかと思いますが、如何でしょうか。

(委員)

春日町が一番新しく、施設としても整っています。

(委員)

豊玉には、太陽光パネルはあるが、発電量がどの位かを表示する設備はありません。春日町で宜しいのではないのでしょうか。

(委員)

基本設計に入る前に皆様から意見を聞いて頂けることは嬉しく思います。見学及び部会が1回だけではなく、もっと多く開催されても良いのではと思います。基本設計は、いくらでも修正ができるような雰囲気がありますが、大きさや形が出てきてしまうと大概が決まってしまう。次回の部会で意見を出し切れるのか不安です。豊玉リサイクルセンター建設時の懇談会では、区民から協力員若しくはボランティア会員を募ってスタートしました。その時は、指定管理者もいましたが活動はボランティア会員ということで、ボランティア会員の活動しやすい場所等を要望し、活動できる部屋や控え室、昼食を食べるスペースなども考えて頂きました。現在は、指定管理者とボランティア会員との関係が少し変わり、ボランティア会員が常駐することはなかなか出来ていません。今回の4施設目を考えるにあたり、区ではどの様に考えているのかということもお伺いしないと、建物をどうしていくべきか、どの様な部分において意見を出していくべきか迷っています。

(環境部長)

運営面ではなく、ボランティア会員の方の居場所などの施設面にも関わるからということでしょうか。

(委員)

そうです。4館目の大泉の施設ができた時に、どの様にスタートするのかが分かりません。

(環境部長)

運営については、白紙です。現在の指定管理者についても一度指定期間が切れます。ボランティア会員の部屋として限定して設置することは出来ませんが、多用途で利用できる部屋として想定しておけばよいと考えています。出来るだけ意見を頂きたいため、設計事務所による各施設の基本設計素案の作成後、8～9月頃の部会、その後の基本設計案の作成の時期においても意見を出して頂いて構いません。可能であれば、6～7月の部会で施設を見学し、最初のご意見を頂くという流れで進めていきたいと考えています。

(事務局)

マイクロバスをチャーターできる日程について、日程に限りがあり、7月8日(月)午前中、7月9日(火)午前中、7月9日(火)午後の3日程にて調整頂けないでしょうか。午前の場合は9:00～、午後の場合は13:30～ 2時間半若しくは3時間程度を予定しています。

(委員)

9日と10日は、移動教室のため校長が不在であり避けて頂けると有難いです。

(環境部長)

日程については、8日(月)午前中とし、当日、参加が難しい場合については、途中から参加して頂くとか若しくは最後の話し合いのところだけ参加頂くということでも構いません。7月8日(月)9時集合ということでお願いします。

(事務局)

7月8日(月)午前9時に練馬区石神井庁舎の駐車場に集合の上、マイクロバスにて建設予定地へ向かい、見学後、春日町リサイクルセンターへ移動します。

直接、建設予定地にこられる委員は、9時20分にこぐれの森緑地の入口に集合してください。予定に変更がある場合は、事務局まで連絡頂ければと思います。

(3) その他

(環境部長)

全体を通して、何か意見があれば御提示頂けないでしょうか。

(設計事務所)

7月の第2回リサイクルセンター部会まで少し期間が空いてしまうため、より多くの意見を頂くためにも、今までの経験や子どもの利用勝手において工夫したほうが良い点など御意見等あれば御教授願います。

(環境部長)

本日はもう時間がないので、皆様の方でご準備頂き、次回以降にご意見を頂戴したいと思います。

(事務局)

集合場所等の詳細の通知については、郵送にて通知させて頂くのでご参照下さい。尚、連絡等については、環境まちづくり事業本部環境部清掃リサイクル課リサイクル施設担当係までお願いします。

(環境部長)

他に御意見等なければ、閉会とさせて頂きます。有難う御座いました。